



鈴木おさむ氏（放送作家）と黄帝心仙人氏（ダンサー・クリエイター）
の初コラボレーションが実現！

DANCE DANCE ASIA—Crossing the Movements 東京公演 2018

◆2018 年 3 月 23 日（金）～25 日（日）◆

東京芸術劇場シアターイースト（東京都豊島区西池袋 1-8-1）

－ チケット絶賛発売中 －

国際交流基金アジアセンター（以下、アジアセンター）と株式会社パルコが 2018 年 3 月 23 日（金）～25 日（日）の 3 日間、東京芸術劇場シアターイースト（池袋）で共催する、日本と東南アジアを代表するストリートダンサーの共演「DANCE DANCE ASIA—Crossing the Movements 東京公演 2018」（「ダンス・ダンス・アジア ～クロッシング・ザ・ムーヴメンツ～東京公演 2018」）のクリエイションが昨年末から開始され、現在、公演本番に向けての準備が着々と進んでいます。

今回の公演は Vince Mendoza（ヴィンス・メンドーザ / フィリピン）、黄帝心仙人（こうていせんにん / 日本）、Hamdi Fabas（ハムディ・ファバス / インドネシア）の 3 氏がそれぞれ振付・演出する 3 作品で構成されたトリプルビルで、日本、フィリピン、インドネシア、タイ、ベトナム、シンガポール、マレーシアから気鋭のダンサーが出演します。

Vince の作品『Hilatas<君を導く光>』（DANCE DANCE ASIA 東京公演 2016 で好評を博した同名作品の長編化作品）には、ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団出身の世界的なダンサー・振付家で、日本の演劇界にも繋がりの深い Fabien Prioville（ファビアン・プリオヴィル）が、振付/演出補佐 ドラマトウルクとして参加、作品の芸術性と円熟味が更に深まっています。

カンヌ国際広告賞をはじめとして前人未踏の 23 タイトルを自身が振付・出演したユニクロの TVCM で獲得した気鋭のクリエイター、黄帝心仙人の作品『宇宙-Space-』では、様々なジャンルで活躍中の放送作家 鈴木おさむ氏が脚本を担当することが決定しました。鈴木氏は「ダンス作品の脚本



という新しい分野にチャレンジすることにワクワクしています。黄帝心仙人のクリエイティブを余すところなく発揮できる形を作っていきたい。」と、初コラボレーションへの意欲を語っています。

また、インドネシアのダンス・アイコン、Hamdi Fabas の作品『Soul Train』では、ストリートダンスの変遷を辿るとともに、ストリートダンスの「今」が表現されます。この作品では長年にわたり Hamdi の右腕として活動している Steven Russel (スティーブン・ラッセル) が振付補佐を務めます。

DANCE DANCE ASIA は、舞台芸術の「新しい表現手法」としてここ数年来、高い関心が寄せられているストリートダンスを軸としたパフォーミングアーツ作品を制作するプロジェクトです。プロジェクトの実施を通して、アジア域内の交流促進と新たな文化の創造を目指すべく、2014年にスタートしました。2015年から2017年まで東京および東南アジア各地で公演を重ね、国内外の様々なメディアで取り上げられるなど、意欲的な作品発表と文化交流の場は年々注目を集めています。

DANCE DANCE ASIA-Crossing the Movements 東京公演 2018 作品概要

- Hilatas <君を導く光>

振付・演出 : Vince Mendoza (ヴィンス・メンドーザ) (フィリピン)

振付/演出補佐 ドラマトウルク : Fabien Prioville (ファビアン・プリオヴィル) (フランス)

出演 : Bboy Allen (フィリピン)、Bird (シンガポール)、Khenobu (マレーシア)、松田尚子 (日本)、Rhosam V. Prudenciado Jr. "Sickledsam" (フィリピン)、Salt (インドネシア)

- 宇宙-Space-

振付・演出 : 黄帝心仙人 (こうていせんじん) (日本)

脚本 : 鈴木おさむ (日本)

出演 : James Wong (フィリピン)、Miyu (日本)、Pythos Harris (インドネシア)、You Kaneko (日本)、ZAIHAR (シンガポール)

- Soul Train

振付・演出 : Hamdi Fabas (ハムディ・ファバス) (インドネシア)

振付補佐 : Steven Russel (スティーブン・ラッセル) (インドネシア)

DJ : DJ Hiroking (日本)

出演 : B-boy Chenon (タイ)、KATSUYA (日本)、Le Huu Phuoc (ベトナム)、NOVIE ONE (インドネシア)、TECCHY (日本)

【公演日程】 2018年3月23日(金)～3月25日(日)

※各回とも3作品全ての上演となります。

3月	23	24	25
	金	土	日
13:00		○	○
18:00		○	
19:00	○		

【会場】 東京芸術劇場 シアターイースト (東京都豊島区西池袋 1-8-1)

(JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。駅地下通路2b出口直結)

【チケット料金】

一般 3,500円(全席指定・税込)

※ご同伴のお子さまの割引販売がございます。(2,000円/3歳以上小学生まで)

学生 2,500円(全席指定・税込)

※大学生・専門学生・中高生の方対象

※当日、入場時に学生証をご提示ください。

※お一人様につきチケット1枚が必要です。

※3歳未満のお子様のご入場はお断りさせていただきます。

※営利目的の転売禁止。

※車イスでご来場予定のお客様は、ご購入の席番号を公演前日までにパルコステージ宛にご連絡ください。

【チケット発売中】

【お問い合わせ】

パルコステージ

Tel.: 03-3477-5858 (月～土 11:00～19:00/日・祝 11:00～15:00)

<http://www.parco-play.com/>

【チケット取扱い】

- パルステ！（スマホアプリ）

パルステ！

で検索！

- チケットぴあ <http://w.pia.jp/t/dda/>
0570-02-9999（Pコード：482-738）
セブン-イレブン、サークルK・サンクス、チケットぴあ店舗

- ローソンチケット <http://l-tike.com/dda/>
0570-08-4003（Lコード：34921）
0570-00-0407（オペレーター対応）
ローソン、ミニストップ店内 Loppi

- イープラス <http://eplus.jp/dda/> ファミリーマート店内 Fami ポート

- 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296（10:00～19:00 休館日除く）
※窓口販売有り
<http://www.geigeki.jp/ti/>（パソコン） <https://www.geigeki.jp/i/t/>（携帯）

※グループ観劇（8名様以上）予約受付中！ 詳細はパルコ・ステージまで。

<託児サービスのご案内>

東京芸術劇場でご鑑賞の際には、一時託児をご利用いただけます。

（有料・定員制・希望日1週間前迄に要申込）

ご予約受付・お問合せ：HITOWA キャリアサポート株式会社 わらべうた

0120-415-306（平日9：00～17：00）

<http://www.geigeki.jp/rent/kids/>



Vince Mendoza (ヴィンス・メンドーザ) (フィリピン)

振付・演出

ダンサー、振付家。UK B-Boy Championship Poppin' フィリピン代表。2016年にハンガリーのGet Down Poppin'、ベトナムのTogether Time オールスタイルで優勝。同年、香港で開催されたSDK ASIA 2016で「TEAM X」として優勝。ユニット「Prince&Vince」で2010年、2012年、2016年のJuste Deboutに参加。ラコステ、ディーゼルなどのショーやMV、CMなどの振付を多数手がける。2015年、「Philippine All-stars」のメンバーとして来日し、DANCE DANCE ASIA 東京公演に出演。2016年12月にはDANCE DANCE ASIA 東京公演にて自身の振付・演出作品『Hilatas<君を導く光>』を初演、2017年4月にはハノイ(ベトナム)・マニラ(フィリピン)公演で同作を再演した。



Fabien Prioville (ファビアン・プリオヴィル) (フランス)

振付/演出補佐 ドラマトウルク

ダンサー、振付家。フランスのCentre National de Danse Contemporaine (CNDC) 卒業後、デヴィッド・ボウイ、フランク・ザッパなどのロックミュージシャンとのコラボレーションで知られるカナダの「ラ・ラ・ラ・ヒューマン・ステップス」での活動を経て、1999年に「ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団」のメンバーとなる。2006年からフリーランスダンサー、振付家として活動。2010年には「ファビアン・プリオヴィル・ダンス・カンパニー」を設立。2017年9月に上演された演劇集団円の『DOUBLE TOMORROW』では構成・演出を務めた。



黄帝心仙人 (こうていせんになん) (日本)

振付・演出

ダンサー、振付家、クリエイター。ロボットの動きを取り入れた人間離れしたボディコントロールと、詩的なストーリーによって生み出される作品で、世界屈指の数々のダンスコンテストでの優勝、『ASIA GOT TALENT』でのゴールデンブザー、さらに自身が振付・出演したユニクロのCMが、世界三大広告賞を含めた23タイトル受賞という快挙を成し遂げ、世界で高い評価を得ている。また孫正義会長の依頼によりロボット『PEPPER』のコンテンツ開発にも関わる。DANCE DANCE ASIAでは、自らのプロデュースユニット「Time Machine」を率いて、2015年にクアラルンプール(マレーシア)とジャカルタ(インドネシア)で公演とワークショップを行い、アジアのファンから熱狂的に迎えられた。アーティストネームの黄帝心仙人の「心」が音読されないのは、「“心”は、読めないから」。



鈴木おさむ (日本)

脚本

放送作家、脚本家。1972年生まれ。高校時代に放送作家を志し、19歳で放送作家デビュー。多数の人気バラエティーの構成を手掛けるほか、映画・ドラマの脚本、エッセイや小説の執筆、ラジオパーソナリティ、舞台の作・演出など多岐にわたり活躍。2018年には初監督映画「ラブ×ドック」が公開予定。



Hamdi Fabas (ハムディ・ファバス) (インドネシア)

振付・演出

ダンサー、振付家。オーストラリアで育つ。インドネシアを代表するダンス・アイコン。4年6ヶ月の間にインドネシアで大人気を博した2つのTV番組で審査員を務める。1997年よりアーバン・ダンス文化とエンタテインメント業界のサポートを開始。2003年にインドネシア初のダンス・コミュニティ、Bboy Indonesia (Bboyindo) を設立。2011年には Fabas ART Dance Productions を、「P.H.A.T crew」の Sabina Jacintha とともに立ち上げる。また、自身のクリエイティブな活動と並行して、MintZ Nge-DanZe GokilZ の審査員を務めるなど、インドネシアのダンスの発展と青少年の育成にも力を注いでいる。



Steven Russel (スティーブン・ラッセル)

振付補佐

2000年、ジャカルタでブレイクボーイのグループ「サウスガंक (South Gank)」に入り、あらゆるジャンルのバトルに参戦。2007年、ジャカルタのダンス・カンパニーのひとつである United Dance Works (UDW) での活動を開始。プロダンサーとして国内外で活動の幅を広げている。現在、「Fabas ART Dance Productions」で振付助手を務め、振付家・コーチとしても活躍。

主催



国際交流基金アジアセンター <http://jfac.jp/>

独立行政法人国際交流基金 (ジャパンファウンデーション) は、全世界を対象に総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。アジアセンターは2014年4月に設置され、ASEAN 諸国を中心としたアジアの人々との双方向の交流事業を実施・支援しています。

日本語教育、芸術・文化、スポーツ、市民交流、知的交流等さまざまな分野での交流や協働を通して、アジアとともに生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指しています。

株式会社パルコ <http://www.parco.co.jp/>



株式会社パルコが担うエンタテインメント事業は、演劇や音楽、映画、アートの分野で新しいカルチャーを積極的に紹介し、話題性の高い情報発信と付加価値の創造に取り組んでおります。2011年からは新しいエンタテインメントとしてストリートダンス舞台公演、ASTERISK、s*t kingz、東京ゲゲゲイ、Shibuya StreetDance Week、また国際交流基金アジアセンターとの共催事業ダンス・ダンス・アジアなど話題の企画を国内外に発信しております。

※ 全てのプログラムの内容は予告なしに変更になる可能性があります。